

1	研究の目的	5	6	電子データを活用した工事監督検査方法	119
2	研究内容	5	6.1	工事関連帳票の減量化、資料作成の労力軽減	119
2.1	研究概要	5	6.2	IT を活用した出来形管理について	128
2.2	研究の進め方	5	7	まとめ	137
3	図面データの有効利用（2次元、3次元）	8	7.1	結論	137
3.1	「図面情報の有効活用の検討」	8	7.2	今後の課題と対策	138
3.2	『朱書きソフト』を利用した地元協議情報の一元的な管理	18	8	参考文献	139
3.3	「標準 CAD データを活用した工事情報共有」	27	9	関係者名簿	141
3.4	「図面の数量データ連係による設計・積算・施工段階での業務改善」	33			
3.5	「電子納品資料を活用した図面データ等の共有による業務改善」	39			
4	電子成果品の保管管理と利活用	44			
4.1	電子納品に対応した測量成果管理・提供システムの開発	44			
4.2	「北陸地方整備局における電子納品の利活用」	50			
4.3	「設計成果の GIS 活用」	61			
4.4	「施設管理情報の管理・更新手法の高度化」	64			
5	受発注者の情報共有	77			
5.1	「工事施工中の情報共有による業務改善」	77			
5.2	「施工段階での情報共有」	87			
5.3	「工事施工情報共有システムの試行について」	89			
5.4	「工事施工中の情報共有システム及び電子竣工検査の実施について」	100			
5.5	情報共有化による工事監督・検査の効率化と電子データの活用	111			